

東北地方太平洋沖地震

じちろうNEWS

発行所

自治労地震対策本部

東京都千代田区六番町 1

TEL 03-3263-0262

FAX 03-5210-7422

3月11日に発生した地震により、被害を受けた全ての皆さまに心からお見舞い申し上げます。自治労は今回の未曾有の大災害に対し、被災された県本部・単組と十分な連携をはかり、自治労組織を挙げて全力で可能な限りの支援を行います。3月30日に決定した「自治労復興支援活動計画」に基づき4月11日から被災地支援行動を開始しています。

活動報告

4月17日 — 第一グループから第二グループに支援行動バトンタッチ

4月11日に開始した自治労支援行動第一グループ・245人の行動が終了し、第二グループに交代した。第二グループは、岩手班に北海道、青森、秋田、山形、滋賀、京都、奈良、和歌山の各県本部計50人、福島班に新潟、群馬、栃木、埼玉、東京、千葉、神奈川、山梨、静岡の各県本部計72人、宮城北部・南部班に長野、富山、石川、福井、愛知、岐阜、三重、大阪、兵庫、岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄の各県本部計155人、の総計277人。4月17日から支援行動を開始し4月24日まで展開する。

第二グループ参加者の声（岩手班）

滋賀の前田顕孝さん：約400人が避難しているグリンピアで救援物資の仕分作業にあたっています。被災者から「ありがとう」と言われたのがうれしい。みなさん思っていた以上に前向きでした。グリンピアでは仮設住宅が建設中で、今後そちらへの支援が必要になってくると思います。また宮古市役所に行った際、職員の人から「自治労さんが来てくれてめちゃめちゃ助かってます」と言われ、自治労復興支援活動が役立っている実感を持ちました。



青森の佐伯隆三さん：赤前小学校で被災者への食事の配膳などを担当。調理員や地元住民らとともに毎日三食、約100人分の食事の準備の手伝いを行っています。赤前小は被災する直前まで直営で給食を作っていたため調理室がまだ残っており、震災後すぐに炊き出しを行うことができたそうです。災害時における直営部門の重要性を感じました。避難所に指定されている学校は直営であるべきではないかと思いました。